



伊能忠敬

領土・主権展示館 企画展

日本のかたちを描いた地図

地図・海図編纂にみる
領土・海洋認識の変遷

2024

2 | 6 火

4 | 14 日

入場無料



柳橋悦(やなぎならよし)

[会場] 領土・主権展示館 [開館時間] 10:00 - 18:00

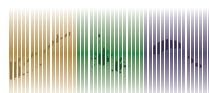
[休館日] 月曜日(ただし、2/12(月・祝)は開館)、2/13(火)、3/3(日)

[所在地] 東京都千代田区霞が関3-8-1 [電話番号] 03-6257-3715

☒ @ryodoshuken <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan> ※詳細はホームページをご覧ください。



領土・主権
対策企画調整室
Office of Policy Planning and Coordination
on Territory and Sovereignty



領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY



上から：伊能忠敬肖像(所蔵：千葉県香取市 伊能忠敬記念館)／大学南校「官板実測日本地図」(1870年)(所蔵：国土地理院)／シルビア号(所蔵：海上保安庁)／勝海舟「大日本国沿海略図」(1867年)(所蔵：国土地理院)／柳橋悦(所蔵：海上保安庁)／勝海舟(出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>))



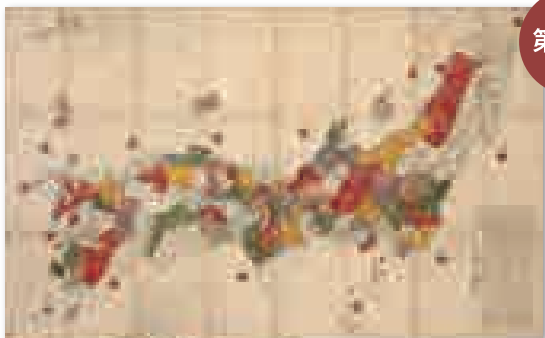
勝海舟

「日本のかたちを大きく描く」

地図・海図編纂にみる領土・海洋認識の変遷

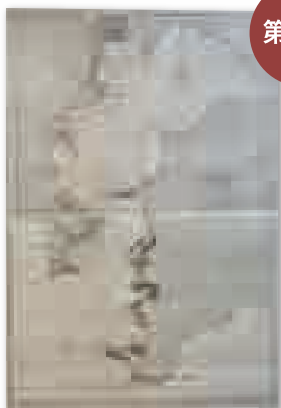
地図や領土に関する最新の研究成果も踏まえ、近世から近代（明治初期）にかけての日本の、特に政府機関による地図・海図編纂の歴史を紹介します。そして、地図や海図の編纂や流通過程を通じて、近世から近代（明治初期）にかけて、日本の国土／領土認識や海洋認識がどのように変遷してきたかを説明します。また、一つの実例として、朝鮮半島の東にあるとされ、明治政府内に論争を引き起こした「幻の島」に焦点を当てます。

第一章



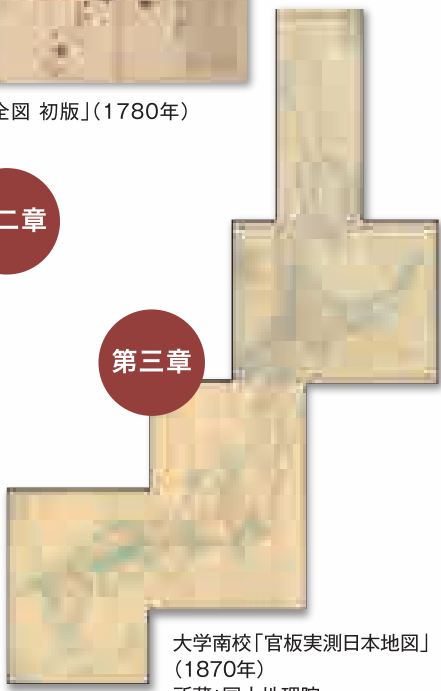
長久保赤水「改正日本輿地路程全図 初版」(1780年)
所蔵：高萩市歴史民俗資料館

第二章



フランス水路部 / マナン
『日本：江戸湾（本州南岸）
：英国海軍海図第2657号より』
(1879年 パリ刊)
所蔵：領土・主権展示館

第三章



大学南校「官板実測日本地図」
(1870年)
所蔵：国土地理院

第五章



陸軍参謀局「朝鮮全図」
(1875年)
所蔵：国立公文書館

第四章



柳橋悦
「塩飽諸島沿岸測量観測野帳」
(1870年)
所蔵：海上保安庁

第一章：「絵図」から「地図」へ — 明らかになる「日本」の形 —

- 江戸時代に見られた日本地図の変化とは？

第二章：開かれる「日本」 — 海図情報の共有を受け入れ —

- 日本が「鎖国」していた時期に西洋で作られた日本地図とは？
- 「開国」後、伊能忠敬の地図を見たイギリス人の反応は？
- 欧米の軍艦に日本沿岸での測量を許可したことを朝廷に批判された時の幕府の反応は？
- 「開国」後、欧米の海図によって暴露された江戸幕府の重大な「秘密」とは？
- 幕府海軍が作製した知られざる海図とは？

第三章：万国博覧会に出展された日本地図 — 世界に示された「日本」の形 —

- 幕末に江戸幕府内で行われた日本地図に描かれるべき範囲をめぐる議論とは？
- 明治政府が万国博覧会に出展した日本地図とは？

第四章：英国の支援を受けつつ、自力測量技術の確立を目指した明治日本

- 英軍艦「シルビア」号とは？
- 日本人が測量した英国海軍の海図とは？
- 江戸時代の絵師が海図作りに果たした役割とは？

第五章：外国の地理情報の収集へ — 朝鮮半島を例にして —

- アジアに最後に残された海図空白地帯とは？
- 「竹島」「松島」をめぐる議論とは？

* 本企画展は、最新の研究も含めて紹介するものであり、個別の記述内容が必ずしも政府の見解を代表するものではありません。
* 展示内容は予告なしに変更される場合があります。

交通のご案内

- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩1分
- 東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A2出口より徒歩5分
- 東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」A13出口より徒歩5分

領土・主権展示館

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1
tel：03-6257-3715
ホームページ：
<https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>

